

企業人向け《合宿》英語特訓課程
(4週間泊まり込み集中教育)

1980年講座御案内

BUSINESSMEN'S
PROGRAM

LIQJ
LIQJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN



世界に通用するビジネスマンの養成に INTRODUCTION

＝企業人向け《合宿》英語特訓課程の御案内＝

本課程は、海外出張・海外駐在を予定しているビジネスマンや、日頃仕事上で外国人と接触する機会の多い方、及び職業柄特に英語を必要としている「全職業人」のために企画された「英語」と「コミュニケーション」の特別集中教育講座です。

短期間に集中的かつ実践的な“特訓”を受けて英語力の飛躍的増強を図ると同時に、日本語社会から切り離された「英語オンリー」の環境に一定期間缶づめになるという、言わば「ショック療法的な生活体験」を通して、異なる文化に対する理解と適応力を養い、激動する国際情勢に対抗しうる本格的国際ビジネスマンの養成を目的としています。

本課程の特色

①全寮制による集中教育

4週間(26泊27日)の期間中は完全に日常業務から離れて英語学習に専念していただけるよう、完全全寮制を敷く一方、外国人講師と朝から晩まで生活を共にし、合計240時間におよぶ授業はもちろん、日常生活のすべてを英語で行い日本語の使用は一切厳禁という、語学教育にとって理想的なTotal Immersion方式を採用しています。

②優秀な講師陣

講師はすべてNative Speakerで、英語を第二言語として教える学位(ESL)を修得した語学教育のエキスパートを中心に、会計・法律などさまざまな分野から経験豊富なキャラクターをそろえています。採用にあたっては、有名ビジネススクールをふくむ米国、カナダの一流大学の推せんにもとづき、校長が毎年渡米して直接インタビューを行った上で人格、能力ともに最もすぐれた学究を招へいしているほか、赴任後も常に最高のコンディションで指導にあたるよう効果的な教授法の開発に努め、LIOJ講師陣の研究実績はESL教育界にあっては日本はおろか世界的にもトップレベルの内容を誇っています。1980年度は17名の講師のうち14名が修士もしくは同等の学位をもっています。

③能力別少人数教育とバラエティーに豊かな受講者

各回定員を34名以下に限定してきめの細かい個人指導を行う一方、1クラスを8名前後に編成してグループによる問題解決能力の開発も図ります。受講者は毎回さまざまな企業・団体の幹部から中堅層、新人に至るまで、事務系・技術系を問わずいろいろなお立場の方が参加されますが、年齢や役職にとらわれない自由な雰囲気でのコミュニケーション集団が形成されます。

④BUSINESS STUDIES

ビジネス関係資料やVTR装置を活用して、ケーススタディー・ロールプレイ等を行い、国際ビジネスの場で必要とされる知識の習得を図ると共に、具体的な事例——商談上のマナー、交渉の進め方と注意点、会議等におけるフォーマルな英語表現、会社及び商品の紹介etc——に関して実践的な指導をいたします。

⑤CULTURAL INTERACTION

講師をはさんで4～5人ずつが1つのテーブルについて毎日食事をとっていただくほか、カクテルパーティー、スライドショー、バス旅行その他特別に準備されたプログラムを通じて、外人コンプレックスを克服し、英語による自然なコミュニケーションスキルを会得し、異なる文化に対する理解と効果的な対話をすすめる能力を養います。

昭和45年開講以来、御好評をいただき、すでに全国348の企業、大学、研究所から1786名を越える受講者があり、それぞれ内外の第一線で活躍中です。ますます複雑化する国際情勢の中で、新たな段階を迎えつつある我が国企業の明日をになう人材育成の場として、この企画が広くお役に立てば幸いです。

LIOJ

受講者推薦のことは

RECOMMENDATIONS



日本軽金属株式会社
常務取締役 牧内 正志

いまや、日本および日本の企業は、われわれ自身が思っているより、はるかに国際社会に強い影響力をもっている。こういう状況の進んでいる限り、われわれ日本人は、多かれ少なかれ“国際的社會人”たがざるを得ないし、外国との係わりの強い企業においては特にそうである。その有力な条件の一つは、やはり国際語としての英語に堪能になることだろう。現在多くの会社の中で、優れた人材が語学力の不足のために、せっかくの出番を失う例の少なくないのは、企業にとっても、本人にとっても誠に残念なことである。

私自身この夏LIOJに参加し、若い人たちと、愉快ではあるが私にとっては相当きつい一ヵ月を過ごしたが、大へんよい勉強をし、有意義な経験をした。われわれの周囲には、その気になればいくらでも語学熟達の道があるが、私は下記の理由でLIOJをちゅうちょなくお薦めしたい。

第一は、期間中相当intensiveなスケジュールであり、しかも24時間English onlyであること。しかも、最初にそれぞれの力に応じて数人ずつの小クラスに分けられるので、ムダがなく効率的な学習ができること。

第二に、何といっても講師陣に質の高いnative speakerが揃っており、明るく開放的であるが、生徒一人一人に強い責任感で適切な個人指導を行なっていることである。一日を午前、午後、晩に分けるが、それぞれに日常会話からBusiness Englishに到るまで可能な限りの工夫が見られる。

第三に、場所が便利な所で、しかも相模湾を望む閑静な高台であること。費用がreasonableであること、これはやはりこの学校の経営に対する真摯な姿勢と、なみなみならぬ努力によるものであろう。



日本経営者団体連盟
(日経連)
教育部次長 石川 弘平

国際化時代といわれるが、私のところでも外国からの訪問客が年ごとにふえているし、外国へ行く機会も、国際会議やミッション派遣、視察団への参加などが急増している。従来これらはほとんど通訳付きか、一部の“英語のできる人”でまかなわれて来たが、それだけではまかないきれなくなって来た。

そこで中堅層を中心に英語が“いくらでもできる”層を育成しようというところで、いろいろ調べた結果、いちばん良さそうだとすることで拵んだのが、このLIOJである。

拵んだ理由の第1は、教師のレベルが高い（いずれもが大学院出身で、そのほとんどが教育に関連した修士を持っている）ので、質の高い教育が期待できること、第2に、24時間英語オンリーの生活を通して、私たちの多くが持っている英語恐怖症をなくすることができるだろうということ、それに第3として、プログラムの構成がしっかりしていて、多様なレベルのものをおくり込んでも、それなりの効果は期待できそうだと考えたことである。

ところが派遣計画ができたなら、はからずも私がその第1号として、LIOJを体験することになった。4週間の研修を終わっての感想をひとことではいえば、LIOJを拵んだことは間違っていなかった、ということである。

教養豊かな教師陣と充実したプログラムの中で、楽しみながら英語をマスターする方法のあるのを、ここへ来て初めて知った。

これだけの事業を非営利でやっておられるLIOJに深く敬意を払うと共に、8週間コース、12週間コースと広がって行くことを強く希望したい。



西山 千
(国際コミュニケーター)

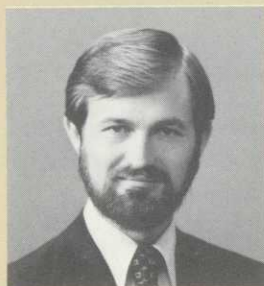
日本語より英語の方がとっさに出る人も……

英語をいっそう集中的に学習する方法として、英語国民と数週間合宿する方法がある。その例は、小田原のLanguage Institute of Japan (LIOJ)に見られる。LIOJはアメリカ人の校長の下で若いアメリカ人が十人ないし十数人先生になっていて、そこに日本人研修生が数十人いっしょに泊り込んで、朝から晩まで英語だけで話をする。食事のときも読書についても英語で話し合う。教室ではもちろん英語である。(中略) LIOJに参加して二週間ぐらい集中教育を受けると、人によっては日本語が簡単に出なくて、英語の方がとっさに出るようになる。それが一つの峠を越えた証拠だろうと思う。

著書「英語のでこぼこ道」より抜粋。 (サイマル出版会)

LIOJ

DIRECTOR & FACULTY



The increasing influence and business relationships of Japan have brought her into the international scene as a major power with global responsibilities. To this end, English, as the international language, has become a vital concern for the Japanese business and intellectual community.

We at LIOJ are dedicated to benefiting Japan and the international situation by teaching English in a way that facilitates successful communication and understanding. Our residential program, which brings together businesspeople and professionals from many of Japan's most important and successful companies, allows participants and faculty to come together as

people rather than just as students and teachers. Much of the awkwardness that often accompanies interaction between Japanese and non-Japanese peoples is overcome during a typical four-week term at LIOJ, and in addition to developing the English and cultural skills that are necessary for doing international business, LIOJ participants are encouraged to learn how to use English for expressing their own personalities and ways of thinking. This is necessary if communication is to be anything more than a mechanical exchange of data.

LIOJ has been offering this 'English Only' residential program for the past twelve years. We believe that it is through such a residential program that we can best serve the communication needs of those businesspeople and professionals selected by their companies for training at LIOJ. We are determined to do our best to continue serving the Japanese business community in this very important way.

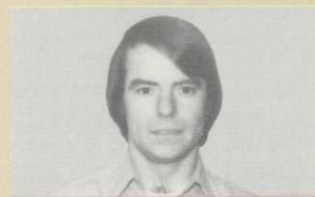
P. Lance Knowles
(Director)

校長略歴

米国カリフォルニア州出身、物理学と数学の研究で学位を取得後、カルフォルニア大学バークレー校にて、第二言語としての英語教育 (ESL) 専門家として実績を積み新しい教本を製作する一方、ミシガン大学より Danforth Teaching Fellowship の称号を受けて教壇に立つなど米国各地で幅広い活躍を果たす。



John Battaglia
M.A. English, University of Iowa; B.A. English, Montclair State College. Has taught E.S.L. in Malaysia, and has traveled in Asia and Europe. Enjoys hiking, literature, and talking with people.



Jim Bergstrom
B.A. English and Speech, Pacific Lutheran University. Has taught English in Thailand & in U.S. Enjoys languages, photography, and Asian cultures.



Katherine Bergstrom
M.A. TESL, University of Washington; B.A. Education, Pacific Lutheran University. Has taught English in Thailand & in the U.S. Interested Asian cultures, languages, and travelling.



Kay Burgess-Brown
M.A. Linguistics/TESL, University of Florida; B.A. English Education, University of South Florida. Formerly, Coordinator of communication classes and teacher of E.F.L. in the Intensive English Program, University of Houston.



Marilyn Fisher
J.D. (Juris Doctorate) Duquesne University School of Law; B.A. Political Science, Law, American University. Attorney and former Assistant City Solicitor, Erie, Pennsylvania. Has taught law in the MBA Program, Gannon College. Enjoys crafts, skiing, and whitewater rafting.



Dan Freeman, Academic Supervisor
M.A.T. in ESL and French, School for International Training; B.A. Linguistic Philosophy and Psychology, Yale University. Has taught in the U.S. Enjoys running, skiing, and music.



Bill Gotton
M.A. in progress, Creative Writing, San Francisco State University; B.A. Political Economy and History, Towson State University. Has taught politics and government in the U.S.



Kathleen Graves
M.A.T. in ESL, School for International Training; B.A. Oriental Studies, Barnard College, Columbia University; senior year at Chinese Language Institute, Hsin Chu, Taiwan; Enjoys traveling, music, and the outdoors.



Howard Gutow, Editor, Cross Currents
M.A.T. ESL, School for International Training; B.G.S., University of Michigan. Has taught ESL in Mexico and U.S. Enjoys reading, sailing, and backpacking.



Penny James
B.A. Sociology University of Winnipeg. Has taught English and Business Skills in Ghana, West Africa. Interested in gourmet cooking reading, and travelling.



Mike McLeod
M.A. TESL University of Minnesota; B.A. German, Macalester College. Attended University of Vienna and the Goethe Institute in Berlin. Has taught ESL in the U.S. and is certified to teach German. Interests include camping, running, and reading.



Valerie Oszust
B.Ed. (TESL) Concordia University, Canada; Quebec Teaching Permit. Has taught ESL in Canada, and has travelled to Europe and Latin America. Her interests include chess, languages, dancing, and newspaper lay-out.



Ruth Sasaki
M.A. in progress, Creative Writing, S.F. State University; B.A. English Literature, University of California, Berkeley. Attended Kent University, England. Has taught ESL in the U.S. and has co-authored an ESL textbook. Her interests include writing short fiction, films, reading, and music.



David Sigaty
MBA in progress, Finance and International Business, University of California, Berkeley; B.A. Accounting, Michigan State University. Has business experience, and is a licensed C.P.A. in the State of California. His interests include, go, fishing, and films.



(From left to right)
Masami Takahashi
Business Manager
Ryoko Yamaguchi
Secretary
Yoshiko Oguri
Secretary
Nobuhito Seto
Secretary



Harold Surguine
M.A. TEFL San Francisco State University; B.A. English, Sonoma State University. Has taught ESL in the U.S., and has published ideas that were presented at professional conferences. Interests include Navajo language and culture, Pidgin and Creole languages, and folkdancing.



John Wilson
M.A. English, University of California, Santa Barbara; B.A. Anthropology, University of California, Santa Barbara. Has taught English Literature and Writing in the U.S., and is presently a PhD Candidate in English Literature.



Joyce Yukawa
B.A. English Literature, Ohio Wesleyan University; A.M.L.S. University of Michigan. Curriculum Consultant for Ann Arbor Public School System. Enjoys photography, Japan, and travel.

LIOJ

《合宿》特訓課程の概要

CURRICULUM

本課程は、語学教育にとって理想とされている TELLS (TOTALLY ENGLISH LIVING & LEARNING SITUATION)方式を、日本で唯一本格的に採用している全職業者のための「英語・特訓プログラム」で、4週間=240時間を越える授業と課外生活(食事、パーティーetc.)を新進気鋭の外国人講師と共に過ごしていただき、日本人ビジネスマンが最も不得手とするリスニング、スピーキング能力を飛躍的に向上させると同時に、外国社会、文化、ビジネス習慣などの理解を深めて外国人との「効果的な対話」を行う能力の強化増進を図ることを目標としています。

受講資格

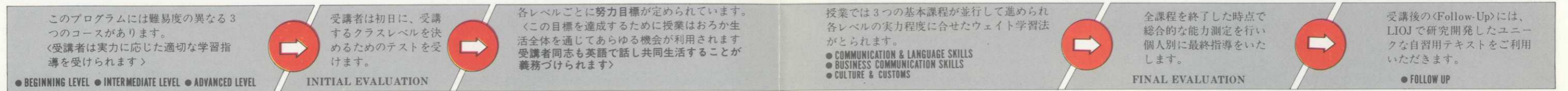
高校卒業程度の基礎英語力を持つ18才以上の方で英語習得を熱心に希望され、4週間の合宿生活に耐える心身ともに健康な方。

1日のスケジュール(月曜～金曜)

DAILY STUDENT LIFE

8:00-8:30 Breakfast	8	16	3:30-4:30 Free time
8:30-12:10 General Communication and Language Skill Development (Synthetic)	9	17	4:30-6:00 Communication and Language Skills for the Businessman and Professional.
12:10-1:10 Lunch with teachers	10	18	6:00-7:00 Dinner with teachers
1:10-3:30 General Communication and Language Skill Development (Analytic)	11	19	7:00-8:30 Communication and Language Skills for the Businessman and Professional (This period sometimes includes time for homework and review, and Special Lectures are given once a week.
	12	20	8:30 Free Time/Self-Study/Evening Programs
	13	21	
	14	22	
	15	23	

■土曜日の午前中は、特別企画を行います。
■土曜日の午後から日曜日にかけてはフリータイムです。



レベ ル	能力評価	努力目標	各レベルに共通する基本課程			フォローアップ指導
LEVEL	EVALUATION	GOAL	COMMUNICATION AND LANGUAGE SKILLS	BUSINESS COMMUNICATION SKILLS	CULTURE & CUSTOMS	FOLLOW UP
BEGINNING LEVEL ◆対象者 このコースは、英語の基本については学んだものの、相当期間英語学習から離れていたため再度基本についての学習を要し、さらに一般的なビジネス英語の習得と、外国社会について理解を深める必要があるビジネスマンを対象にして進められます。 ◆指導ポイント 日常生活でよく使われる基本的な言いまわし、文法、ホキョブラリー等を学習し、それらを合宿生活の中で実践してみることで、英語によるコミュニケーションの実態をつかむことに重点が置かれます。	INITIAL EVALUATION 1. ORAL INTERVIEW (口頭面接) 2. PLACEMENT TEST (選択問題) 3. LISTENING TEST (聴解力テスト)	基本的な英語力を身につけると共に、それを日常生活の中で会話として生かすことができ、一般的なビジネスの場において簡単な意志伝達を行うことができるようになる。 ※なお、このレベルに該当する受講者で、課程終了後直ちに複雑な海外業務に赴任が決まっている場合は本課程を再度、連続か又は隔月で2期以上受講することをおすすめします。	教師は、特定の教授法にこだわらず、受講者が興味を抱く、受講者のニーズに合った適切な手法を用いて指導に当たります。 伝統的な教え方から最新理論に基づくものまで各種の教授法を駆使して、英語によるコミュニケーション能力の増強を図る課程です。	実践的なビジネス英語の習得と国際ビジネス社会で必要とされる知識と教養を身につける課程です。	徹底した英語オンリーの欧米文化的な生活を通じて異なる言語文化への理解と適応力を養う課程です。又、LIOJでは毎年定期的にタイ国、韓国からも要学生を招いていますので欧米だけでなく、アジア近隣諸国の現状にも触れながら国際理解を深めていただきます。	最後の週にLIOJ修了後の学習方法について種々のアドバイスをいたします。
INTERMEDIATE LEVEL ◆対象者 このコースは、優れた英語の知識はあるが、それを会話力として実践の場で応用していくことに難があると共に国際ビジネス社会の基本的なルールや外国社会・文化・習慣をより深く理解する必要があるビジネスマンを対象にして進められます。 ◆指導ポイント 日常生活や仕事上で、様々な対応を求められる外国人とのコミュニケーションを自然な形に近づけると共に、英語による一般的な「問題解決能力」の開発を図ります。	FINAL EVALUATION 1. LISTENING TEST (聴解力テスト) 2. INSTRUCTOR'S REPORT (評価表送付)	日常的な英会話とはほとんど不自由なく話すことができ、ビジネスの場においても相当の意志伝達ができる英語力を身につける。又、海外での長期滞在生活にも充分適応できる知識と経験を得る。	〈多彩な教授法の一例〉 ● Cloze Listening Exercises ● Group Problem-Solving Discussions ● Error Correction ● Fluency and Story Squares ● Speeches and Debates ● Situations and Conversation Techniques ● Silent Way ● V.T.R. Projects and Simulations ● Community Language Learning ● V.T.R. Listening in Context ● Language Laboratory Exercises ● Cross Cultural Activities and Discussions ● Drama Techniques for Fluency and Body Language ● Grammar/semantic exercises ● Pronunciation/Intonation improvement	●米国のビジネススクールにおけるケーススタディの手法を取り入れて、多国籍企業、合弁企業の問題点についてディスカッションを行い英語による問題解決能力の開発を図ります。 ●時事問題、国際情勢などに関するリーディングとディスカッション及び自由研究。 ●VTR装置を使って行う外国ビジネス社会の習慣やルール等の学習。 ●会議などで用いられる丁寧な表現方法、短いスピーチや会社・商品の紹介の仕方・電話・アポイントメントの取り方、ビジネスレターの学習他。	●宿泊施設は全室洋室・バス・トイレ付きですので、居ながらにして快適な外国生活を体験していただけます。 ●4～5人単位で外人講師と一緒に食卓を囲みながら食事のマナーを体験する他、インフォーマルに、お互いの理解を深めます。 ●バス旅行、ハイキング、スポーツ大会等課外活動を通じて外人講師と接することにより、外人コンプレックスをとり除き、英語による自然なコミュニケーションの体得を図ります。 ●カクテルパーティー、ダンスパーティー、スライドショー等を開催し、楽しみながら、外国文化を学習します。	●本課程の受講者にはフォローアップ教材としてLIOJで研究開発したビジネスマン向き自習用テキスト CONVERSATIONAL COMPONENTS 〈INTERMEDIATE〉カセットテープ4本付(市価¥7,500)を無料で差し上げます。 ●発音やヒアリング能力を向上させる自習用テキスト PRONUNCIATION 1 (カセットテープ3本付)はご希望の方に ¥6,500で頒布いたします。
ADVANCED LEVEL ◆対象者 このコースは、非常に優れた英語の知識がありかつ英会話についても相当の実力があるが、さらに国際ビジネス社会の実体について、高度な理解と実践訓練を必要とされているビジネスマンを対象にして進められます。 ◆指導ポイント 英語をより正確にしっかりと身につけるため厳しい矯正が加えられる他、業務上で直面する複雑困難な状況を打開・達成するために不可欠な英語による高度な問題解決能力の開発を図ります。		本格的国際ビジネスマンとして必要な高度な教養と国際的視野を身につけ、ビジネス上の問題については外国ビジネスマンとほとんど対等に話し合うことができるようになると共に海外生活において相当の交際を行うに必要な知識と経験を得る。				

LIOJ

場所および施設

LOCATION & FACILITIES

LIOJは小田原市郊外の高台にそびえるアジアセンター内に設置されています。アジアセンターは国際会議場・企業の教育研修場として多くの方々にご利用いただいている地上5階地下2階の建物で箱根山を背に相模湾に面し、伊豆、大島、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。200名の宿泊設備に加えて会議室、映写設備、冷暖房も完備しており受講者の方には期間中なるべく海外生活に近い雰囲気の中で受講していただくため、宿泊はすべて洋室（バス・トイレ付2～4名の相部屋）で、食事、レクリエーション、など原則として外人講師と一緒に過ごしていただきます。又、各種スポーツ用具の無料貸出しや、大型バス、L.L.システム、VTR装置等充実した設備が用意されています。

- ◆交通の便
- | | | |
|------|--------|---------|
| 新幹線 | 小田原駅下車 | 駅からタクシー |
| 東海道線 | | で5分 |
| 小田急線 | | |
- 東京駅から新幹線こだまで 42分
 - 新宿駅から小田急ロマンスカーで 70分
 - 名古屋駅から新幹線こだまで 2時間10分



開講日オリエンテーション



食事風景



宿泊室



LIOJ全景



ハッピーアワー



フォークダンス



授業風景



課外活動



フリートーキング



ランゲージラボ演習

4週間の合宿生活と受講者の自主活動について

受講者は「英語社会」の実際をさまざまな場面で体験的に学習するため、4週間の合宿生活全体を通じて、各種の課外活動に参加します。

なかでも特に大きなウェイトをしめるのが毎日の食事時間です。食堂では講師を囲んで4～5人ずつが1つのテーブルについて食事をとっていただきますが、合宿生活ならではのクラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルなコミュニケーションスキルを会得するに最適な時間となります。

このほか通常授業の後も各種のイブニングプログラムが催されます。プログラミングは各回若干異なりますが、「ハッピーアワー」「スライドショー」「カクテルパーティー」「フォークダンス」「英語ゲーム」「キャンドルライトディナー」「特別講演」等々合宿講座ならではの多彩な企画が毎週用意されるほか、土曜日の午前中も「スポーツ・レクリエーション」「映画鑑賞」等の催しが開

かれます。又最終日には「フェアウェルパーティー」が開かれ、期間中クラス単位で製作した「プロジェクト」の発表なども行われます。

一方受講者には、左記にあげた通常授業と課外活動以外の時間をどう充実させるか自分自身で考えてオーガナイズして行くことが義務づけられます。これは、受け身の姿勢でない主体性をもった自発的な考えを「英語で」計画・実行することで、英語社会の中で生きる上に不可欠な「自立心・独立心」を養うためです。

たとえばグループでパーティーを計画して講師を招いたり、テーマを決めて自主研究し、卒業時に皆の前で発表したり等何んでもよいのです。

LIOJで苦勞して何かを仕上げた満足感そのまま外国で生きるのびる「自信」につながることでしょう。

LIOJはそうした受講者の自主活動が120%充実したものとなるよう期待いたします。

LIOJ

過去に受講された企業等一覧 PARTICIPATING FIRMS

●建設、鉄鋼、非鉄金属、輸送用機器関係

- 旭プレコン
- 関東建材工事
- 熊谷組
- 甲陽建設工業
- 共栄工事
- 日立プラント建設
- 日本建設コンサルタント
- 佐伯建設工業
- 清水建設
- 三井不動産建設
- 竹中工務店
- 飛鳥建設
- 東海電 工事
- 小野田エンジニアリング
- 東レエンジニアリング
- 池貝鉄工
- 小田原鉄工所
- 石川鉄工
- 佐藤鉄工
- 木村刃物製作所
- ミノノ刃物製作所
- 日本バルジ工業
- 新日本製鐵
- 日本金属
- 日本軽金属
- 日本金属工業
- 日本冶金工業
- 日鐵建材
- 三菱金属
- 新東プレーター

- 平河電線
- 日本鋳業
- 日立造船
- 三菱重工業
- 川崎重工業
- 三菱自動車工業
- 三井造船
- 来島どつく
- 寺岡造船
- 中越ワケシア
- 日本鋳鋼
- ノーリツ鋼機
- 住友重機械工業
- 石川島クレーンメンテナンス
- アイシン・ワナー
- 日本総合建築事務所
- 総合設備コンサルタント
- 日本飛行機
- 日本ファース工業
- 日本国土開発
- 鈴木自動車工業
- ヤスキ産業
- 日本ケーブルシステム
- 国際計装
- 千代田計装

●機械、電気、精密機器関係

- 小松製作所
- 日立電子
- 奈良機械製作所
- 日本ダンフォス
- 日本空圧機工業
- 日本エヌ・シー・アール

- 昭和空圧機工業
- 油研工業
- アンテナ技研
- アルプス電気
- 富士通
- 開発電子技術
- KDD
- コバル精密
- 明電舎
- 松下電産
- 松下電装機器
- 三菱電機
- 三菱電機
- 日本IBM
- 日本アビオトロニクス
- 日本電装
- 日本インターナショナル整流器
- 日本電子
- ソニー
- 三和エレクトロニクス
- 山水電気
- 山水音響
- 立石電機
- 東大無線
- 安川電機製作所
- 横河電機製作所
- 富士電機製作所
- 日立電子
- 田辺化工機
- 小松インターナショナル製造
- 河口湖精密
- 富士通テン

- 豊田自動織機製作所
- ソニーマグネプロダクツ
- バイオニア
- 三和デッキ
- 小松電子金属
- コバル
- 東洋製缶
- 沖電気工業
- 九州電力
- 電源開発
- 日本通信協力
- 三和大業電気興業
- 鐘通工業
- 新電元工業
- サンドビック・ジャパン
- 東海電化工業
- シクタクニ
- 野村精機製作所
- 湯浅電池
- 北沢バルブ
- アイワ

●繊維、パルプ、紙、化学、石油、ゴム関係

- 旭化成工業
- 大同毛織
- 日清紡績
- 大東紡績
- 三菱レーヨン
- 帝人
- 東レ
- 東邦レイヨン
- 東邦ベスロン

- 鐘 紡
- 王子製紙
- 大王製紙
- 本州製紙
- 十条キンバリー
- 北村バルブ
- ナショナル木材工業
- 山陽スゴット
- 東洋バルブ
- バイエルジャパン
- 台糖ファイザー
- 亀山ローソク
- 関西ペイント
- 花王石鹼
- 小西写真工業
- 共栄油脂化学工業
- 松本油脂製菓
- 三井フロンケミカル
- 日華化学工業
- 日本ケッカーケミカル
- 日本ケッチェン
- 日亜化学工業
- 住友バイエルウレタン
- 戸田工業
- 東芝シリコン
- アブダビ石油
- 丸善石油
- モバイル石油
- シェル石油
- 鹿島石油
- プリチストンタイヤ
- エッソ化学

- シェル化学
- 徳山曹達
- 東洋化学産業
- ゼネラル石油精製
- 日揮化学
- プロクター・アンド・ギャンブル・サンホーム
- アンネ
- 北陸製菓
- ジョンソンエンドジョンソン
- P&G石鹼
- P&Gサンホーム工業
- 東洋プロダクツ
- 三共ペガサス
- 日本オイルシール工業
- 宇部アンモニア工業
- 安徳皮革化成所
- ジョンソン
- デュボンファーマーイースト
- プリチストンバルブスチールコード
- 巴川製紙所
- グワケミカル日本
- 日本特殊農業製造
- トーレ・シリコーン
- 永井衣料
- ポリプラスチックス
- 四国化成工業

●金融、保険、証券、会計事務所関係

- 第一勧業銀行
- 平和相互銀行
- 西日本相互銀行
- 日本長期信用銀行
- 日本開発銀行
- 協和銀行
- 三和銀行
- 太陽神戸銀行
- 三菱信託銀行
- 三井信託銀行

- 安田信託銀行
- 住友信託銀行
- 明治生命保険
- 住友生命保険
- 第一生命保険
- 東京海上火災保険
- 大正海上火災保険
- 大成海上火災保険
- 第一証券
- 三洋証券
- 新日本証券
- 山一証券
- 山種証券
- 和光証券
- 日本勧業角丸証券
- ナショナル田林証券
- アーンスト&ウイニー会計事務所
- デロイト・トウシュ&セルズ
- 監査法人サンワ事務所
- ビートマウ・ウィックミッチェル
- プライスウォーター・ハウス
- ライブラント会計事務所
- 辰己共同会計事務所
- 鈴木豊会計事務所
- 扶桑監査法人
- 昭和監査法人
- 九段法律会計事務所

●官公庁、大学、研究所、病院関係

- 電電公社
- 川崎市役所
- 専売公社
- 大蔵省
- 郵政省
- 運輸省航空局
- 国鉄
- 慶応義塾大学
- 長崎大学商工短大

- 日本大学医学部
- 東京医科大学
- 東京工業大学
- 早稲田大学
- フランシスコ修道会本部
- 国立精神衛生研究所
- 動力炉核燃料開発事業団
- 医道の日本社
- 日通総合研究所
- 日本リサーチセンター
- 日本海事検定協会
- 日本能率協会
- 日本機械学会
- 日本軽金属総合研究所
- 野村総合研究所
- 鈴木江特許事務所
- 幕張医院
- 日本大学病院
- 千葉大学附属病院
- 弘前大学医学部
- 法政大学
- 河上病院
- 大阪府立貿易専門学校
- 東京理科大学
- 東京歯科大学

●商業、サービス関係その他

- エービーシー商会
- アイワ商事
- 蝶理
- エクマン商会
- 福本
- 富士塗油器
- ヒロカメ商会
- 汎米貿易
- 光南通商
- 北尾書籍貿易
- 教文社
- 松坂屋

- 日本紙パルプ商事
- オール商会
- オールドパー
- OSG販売
- パレス・エンタープライズ
- ラッキー商会
- ロイヤルインターオーシャンラインズ
- さいか屋 町田店
- 泉燃糸
- 三・エス
- 三洋貿易
- トヨタ自動車販売
- 東京三菱コルト自動車販売
- 養命酒製造
- 電通
- 博報堂
- 逢米閣食堂
- 国際トラベルサービス
- 日本テレビ放送網
- 日本交通公社
- テレビ朝日
- アキタ
- 旭松凍豆腐
- アジア海運
- 米海軍厚木基地航空機修理部
- BOISE CASCADE CORP
- ブッシュシモール朝比奈法律事務所
- ビューラミマ
- エアリフト
- G.D.SEALE FAR EAST INC.
- 本洲ビルディング
- 北野輸送
- 味の素
- 中野汽船
- 日本水産
- 日本航空
- 日本ムーク
- 岡村製作所
- オブティマスジャパン
- ポリドール
- シンワ運輸
- サイプガス
- サンビー輸送

- セントラル硝子
- 東洋航空事業
- 東京急行電鉄
- 東亜国内航空
- 東京ガス
- ウインスロップ
- 山九運輸
- 朝日新聞東京本社
- アセア・ガデリウス
- ケモ・コスメテック販売
- 守谷商会
- 日本規格協会
- 三洋出版貿易
- タカキベーカーリー
- 電通
- 野村総合研究所
- シーメンス
- サン・ヴァレイ
- 国際ヨーホー
- 中川デザイン研究所
- 世界救世教
- 山下新日本汽船
- 昭和郵船
- マン・パワー
- 東旺出版
- 長野コココーラボトリング
- 馬場大光商船
- オリエンタルモーター
- 日本経営者団体連盟
- 日本フィリップス
- 後楽園スタジアム
- 三浦印刷
- につかつ
- 味の素
- シーメンス・トラベル
- シーメンス・メディカル・システムズ
- 日本オリベッティ
- トミー
- 高久
- 日本シーカーアール
- 藤井商会
- プリマハム

順不同

以上348団体、1,786名の受講者があり、それぞれ内外の第一線で御活躍中です。

最近3年間の受講者年齢構成

	20代	30代	40代	50代	60代	受講者合計
1979年(1-10回までの中間集計)	82人	141人	22人	7人	1人	253人
1978年(1-11回)	95	104	38	7	1	245
1977年(1-11回)	95	97	27	7	1	227
合計	272	342	87	21	3	725
割合(%)	37.5	47.1	12	3	0.4	100

利用企業の声

行員の国際感覚醸成には、当行でも、いろいろな形で力を注いでおりますが、とりわけ、LIOJには、希望者の中から社内選考にパスした者を受講させ、国際化推進の「要」となる人材の層の拡大を図っております。

平和相互銀行 人事部 研修担当課長
LIOJの合宿による集中訓練は「学ぶ」「習う」だけでなく、生活の中で「使う」ことが求められる。このことは英語を使う生活のすべての面での能力向上につながるため、当社としては海外派遣予定者の訓練に活用している。

KDD学園 研修部 第2研修課長

当社では海外要員育成教育システムの中にLIOJを組み入れているが、教師陣の質の高さとバラエティに富んだカリキュラムは新人・中堅を問わず好評である。

富士通株式会社 教育訓練部教育訓練課長
ある程度の基礎力があり、あと少しで英語を話せるようになるレベルの者を育成するには強制的でかつ集中的な体験学習が望ましい、当社はこうした考えで社員をLIOJに派遣している。

プリチストンタイヤ株式会社 人事部 研修課長

当社では海外協力事業を積極的に展開しており、国際性豊かな人材の育成を図るため英語力のレベルアップ並びに外国語の雰囲気体得にLIOJを活用しています。

電源開発株式会社 労務部 研修課長

急速に距離と時間が短縮された世界の共通語はやはり英語である。加えて、当社は多国籍企業であり、多くのInternational Managerの来日、又日本人従業員のみ国本社派遣やTrainingにLIOJは欠かせない存在である。

P & G サンホーム株式会社 総務部長
急に海外派遣が決まった者にとって外地で支障なく任務を遂行するためには、何より短期間に精神的な自信を持たせて送り出すことが肝要である。LIOJの合宿特訓課程はまさにそうした目的に合致している。

東京海上火災保険株式会社 研修室 研修課長
海外駐在員、海外合併会社への派遣内定者の語学力を、短期間に効果的にレベルアップさせるためLIOJを受講させています。
東レ株式会社 人事部 海外人事課長

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

日本で初めて全寮制による英語集中教育方式を採用する語学教育・研究機関として昭和43年3月設立。短期間で生きた英語の習得と外国文化の理解を図るとともに国籍を越えた真のヒューマンリレーションを体得していただくため英語オンリーの徹底した生活学習環境を設定して、独自の研究開発をすすめています。「企業人向け《合宿》英語特訓課程」、「一般及び大学・短大生向け《合宿》英語特訓課程」、中学・高校の英語の教師を対象にした「ワークショップ」、「企業人向けスペイン語講座」の他、「通学コース」などを企画し、すでに1万名を越える受講者があり各界から御好評をいただいています。

また、語学教育と文化コミュニケーションの機関誌「クロスカルレンツ」の発行、新しい教材の製作や教授法の開発、在日外人英語教師のための「TEFL会議」の開催、東南アジア諸国からの奨学生の招へいなど、日本の語学教育の発展と国際文化交流に寄与しています。



- LIOJ本部事務局「企業」係
- LIOJ東京オフィス「企業」係

神奈川県小田原市城山4-14-1 〒250
アジアセンター内 TEL:0465-23-1677
東京都港区南麻布4-9-17 〒106
お問合せのTELは本部事務局まで。